

はじめに

本書は、免震建物が国内で既におよそ4千棟建設されまた多くの建物において定期点検がなされており、その中で不具合事例や推奨事例が蓄積されていることから、これらを記録に残し今後の免震建物の健全な発展に寄与することを目的としています。

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」では、その揺れが広範囲に渡ったことから、多くの免震建物が長周期長時間地震動を経験することとなり、おおむね免震効果は発揮されているものの、エキスパンションジョイントの破損や履歴系ダンパーに貴重な教訓を与えることとなりました。

免震建物の点検時に指摘される問題事例は、建物の経年変化や使い方に起因するものが意外に少なく、施工に起因するもの、それ以前の設計に起因するものや根本的な計画時に起因するものが多く見られます。推奨事例では、一般的にはあまり知られていないが、感心するような工夫がされている納まりのものも見られます。

免震建物の設計並びに施工については、それぞれの専門書によるものとし、ここではそれらの結果として点検の現場で見られる事例から、遡って設計及び施工の参考になるものを掲載し、その一助となることを目指しています。したがって、ここに記載されているものが免震建物について全て網羅していないことを留意ください。

なお、本書は免震建物の健全な発展に寄与することを目的に作成されていること、問題事例は一般に公表されているものが少ないことから、記載されている事例は、実際に確認されたものに加えて伝聞に基づくものや点検の現場での経験から参考となりそうな事例を創作したものが含まれていることをご了解下さい。

平成27年10月

維持管理委員会